

# こうふくらしっく♪

～ 3000人が楽しく暮らせるしくみづくり ～

江府町 小さな拠点づくり基本計画



平成29年3月  
江府町

# 小さな拠点づくりとは

中山間地域等の集落生活圏（複数の集落を含む生活圏）において、安心して暮らしていく上で必要な生活サービスを受け続けられる環境を維持していくために、地域住民が、行政や民間企業、各種団体と協力・役割分担をしながら、各種生活支援機能を集約・確保したり、地域の資源を活用し、しごと・収入を確保する取組を「小さな拠点」づくりと言います。

江府町（以下「本町」）においては、町全域をひとつの集落生活圏と位置づけ、住民が主体となり、暮らしに必要なサービスの維持・確保を図りながら、地域生活を維持できる体制を確保することを趣旨として、本計画を策定するものです。

本計画を進め、小さな拠点整備を進めていく過程において、人材の発掘・育成、にぎわいの創出、交流の促進、地域生活の向上をめざします。

本計画の目標年度を平成33年度とします。

## 拠点エリアの設定

- 「江尾」地区周辺をはじめ、道の駅「奥大山」、江尾駅、武庫駅の3駅を結ぶエリア

# 小さな拠点づくりの基本構想

## 計画の基本理念

# こうふくらしっく♪

～ 3000人が楽しく暮らせるしくみづくり ～

こうふで、こうふにくらそう♪

こうふのくらしをシック(おしゃれ)にしよう♪

こうふのクラシカル(伝統・文化・景観)な魅力を発信しよう♪

こうふのくらしにシック(やみつき)になって住み着こう♪

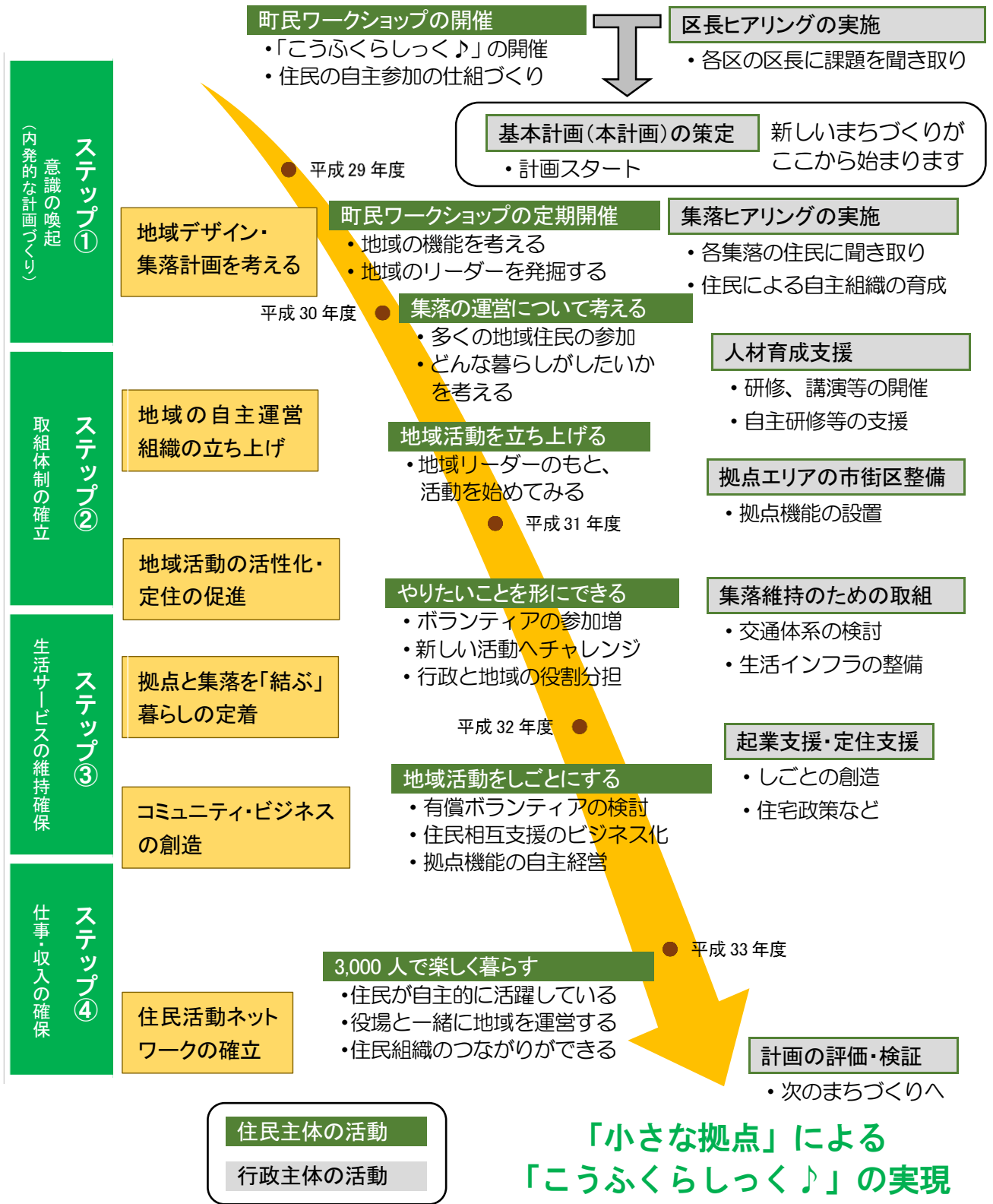
# まちの目指す姿



# 小さな拠点づくりの活動ステップ

本計画では、拠点エリアを設定し、全ての住民の協働により発展、充実に取り組むものです。

大きく、以下の4つのステップで、役場と住民がともにまちづくりに係わり、江府町全体の地域の暮らしが向上することを目指します。



# みなさんからの声

## 地域の課題

本計画の策定に当たり、町民の暮らしの課題や地域資源の収集、町民のみなさんのまちづくりへの熱意を取り入れるため、集落の区長に対するヒアリング調査、及び町民ワークショップ「こうふくらしっく♪」を開催しました。

### 地域

- ・集落の管理が難しい
- ・空き家が多くなってきた
- ・災害が怖い地域がある

### 人材

- ・農業の担い手不足
- ・少子高齢化、組織の高齢化
- ・地域の連帯感の希薄化
- ・独居高齢者の増加

### 暮らし

- ・働く場が少ない
- ・高校生になると出て行く
- ・子どもの参加する行事の減少
- ・近くで買い物や食事がしにくい

### 生活インフラ

- ・車がないと移動しにくい
- ・バス・電車の数が少ない
- ・携帯電話がかかりにくい
- ・空き家が多くなってきた

## 地域の魅力

### 人

- ・顔が見えるつきあい
- ・優しい人柄

### 暮らし

- ・移動販売がある
- ・道の駅ができた
- ・地域にまとまりがある

### 伝統・文化

- ・十七夜のお祭り
- ・ひなかざりがはじまった

### 自然・環境

- ・大山の姿
- ・夜空がキレイ
- ・水がおいしい
- ・自然で遊べる
- ・生活費が安い（家賃、土地）
- ・食材が豊富でおいしい



## 「こうふくらしっく♪」からのアイデア —こんな取組をやってみたい—

### 景観ボランティア

#### 「笑美の花を広げる会」

場 所 町内どこでも  
参加者 町民みんな  
時 期 いつからでもOK  
協 力 社会福祉協議会  
必 要 ボランティアを紹介する仕組  
掃除道具、運営の仕組  
花の手入れができる人の育成

江府町が  
きれいなまちになります

### 童心倶楽部

#### 「駄菓子屋うまいBAR」 昼は駄菓子屋、夜は缶詰バー

場 所 駅前の空き店舗  
参加者 出資者  
(一口1万円程度)  
時 期 出資者が集まれば開始  
協 力 小・中・高校生、協力隊、大人  
必 要 仕入れ先(ネット?)  
持ち寄り料理、カラオケセット

楽しいまち、  
賑やかな駅前、  
ふと立ち寄りしたいまち

### 育つ観光案内所♡

#### 「来てよかったと思える 観光案内所！！」

場 所 道の駅  
参加者 観光協会、町民  
時 期 今でしょ!?  
協 力 地域に詳しい人、明徳学園  
必 要 PR動画作成  
ボランティアの体験ツアー

町民さん一人ひとりが  
まちを好きになります♪

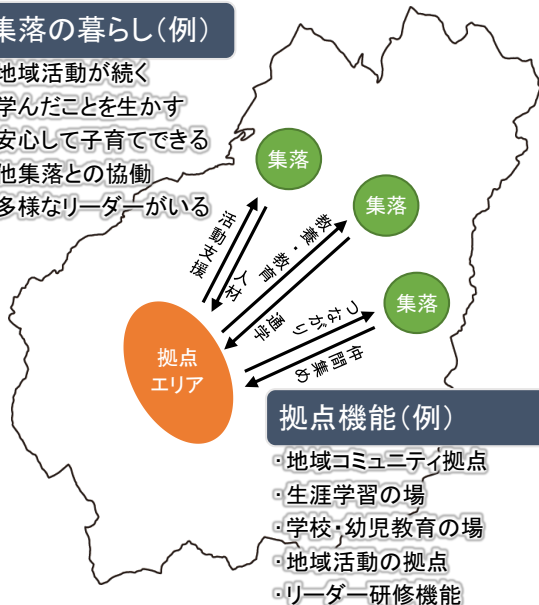
# 小さな拠点の実現に向けた取組

## 1. こうふくな人づくり

- (1) 地域の人材を見つけて育てます
- (2) 人と人を繋ぐ仕組みをつくります
- (3) 活動拠点づくりを進めます
- (4) 町民ができることを進めます

### 集落の暮らし(例)

- ・地域活動が続く
- ・学んだことを生かす
- ・安心して子育てできる
- ・他集落との協働
- ・多様なリーダーがいる



### 拠点機能(例)

- ・地域コミュニティ拠点
- ・生涯学習の場
- ・学校・幼児教育の場
- ・地域活動の拠点
- ・リーダー研修機能

### こんなまちを目指します

- ・江府町のもつ価値や魅力を理解する人が増える。
- ・地域を引っ張るリーダーと、それを支える住民のネットワークができている。
- ・自主的、主体的な活動が全町で見られるようになる。
- ・学校などと協働で、ふるさとを好きになる、未来の大人たちが育つ。
- ・いつでも集まり、コミュニティ活動ができる場所がある。

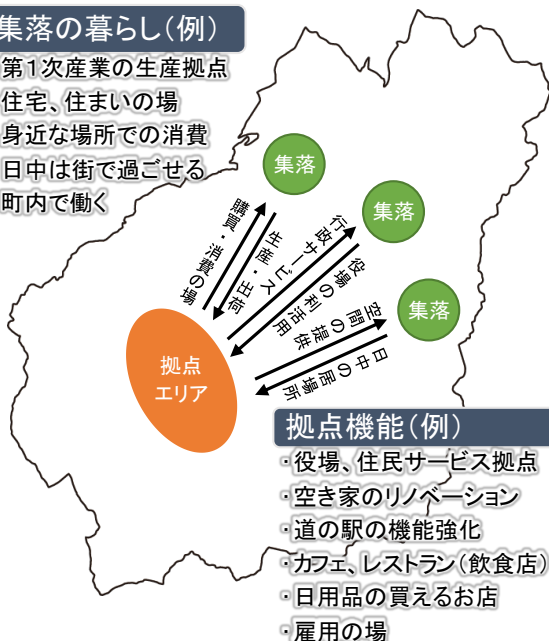


## 2. にぎわいのあるシックなまちづくり

- (1) 人の集まる場所をつくります
- (2) まちで働く人を増やします
- (3) まちで活躍する人を応援します

### 集落の暮らし(例)

- ・第1次産業の生産拠点
- ・住宅、住まいの場
- ・身近な場所での消費
- ・日中は街で過ごせる
- ・町内で働く



### 拠点機能(例)

- ・役場、住民サービス拠点
- ・空き家のリノベーション
- ・道の駅の機能強化
- ・カフェ、レストラン(飲食店)
- ・日用品の買えるお店
- ・雇用の場

### こんなまちを目指します

- ・江府町の中心街においては、一定の機能・住民サービスが維持されている。
- ・住民との協働で、道の駅やJRの駅周辺の活用が進んでいる。
- ・町民同士が支えあう仕組みによって、地域経済が活性化されている。
- ・町内で日常生活の必需品をいつでも買うことができる。
- ・にぎわいの拠点となる機能集積が進んでいる。



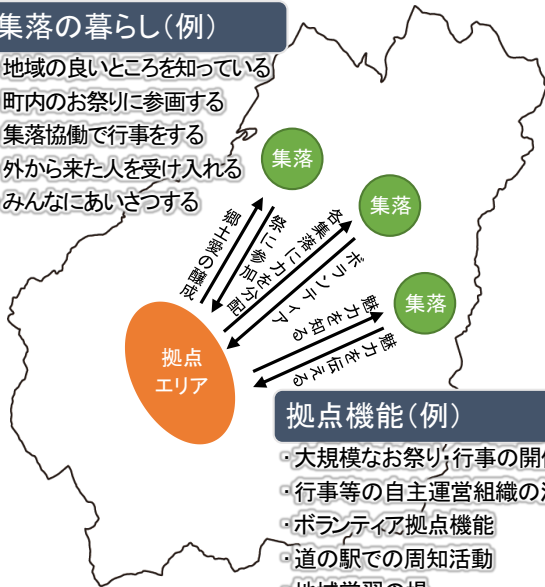
■ 道の駅「奥大山」

### 3. 魅力を共有する交流づくり

- (1) みんなが地域を好きになります
- (2) 交流人口をふやします
- (3) 交流拠点づくりを進めます

#### 集落の暮らし(例)

- 地域の良いところを知っている
- 町内のお祭りに参画する
- 集落協働で行事をする
- 外から来た人を受け入れる
- みんなにあいさつする



#### 拠点機能(例)

- 大規模なお祭り・行事の開催
- 行事等の自主運営組織の活動
- ボランティア拠点機能
- 道の駅での周知活動
- 地域学習の場
- 若者が魅力を感じるまちづくり

#### こんなまちを目指します

- お祭りや行事を自主的・主体的に開催する仕組が維持できる。
- 観光ボランティアなど、積極的に交流を仕事ととしてできるまちになっている。
- 自分の住んでいる地域のいいところを、住民の多くが知っている。
- Uターン者を受け入れる、地域の気風が育っている。
- 若者やUターン者を雇用する場ができている。



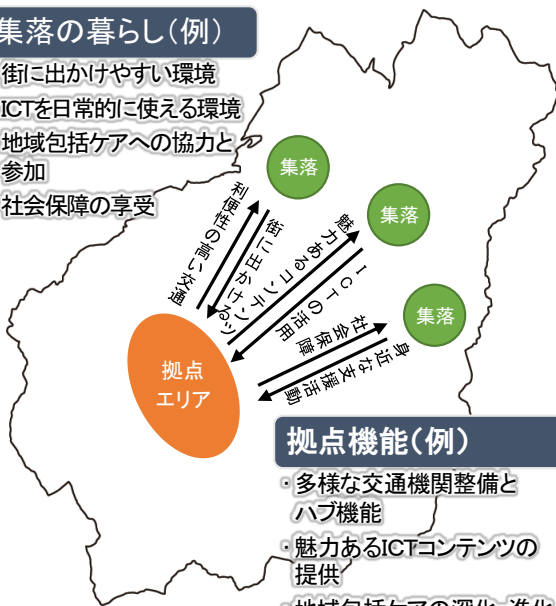
■ 旧江尾発電所(全国で現存する石造発電所11ヶ所の一つ)

### 4. やみつきになる暮らしづくり

- (1) 交通・通信を便利にします
- (2) 地域文化を豊かにします
- (3) 保健・福祉を充実します
- (4) 集落整備の方針を定めます

#### 集落の暮らし(例)

- 街に出かけやすい環境
- ICTを日常的に使える環境
- 地域包括ケアへの協力と参加
- 社会保障の享受



#### 拠点機能(例)

- 多様な交通機関整備とハブ機能
- 魅力あるICTコンテンツの提供
- 地域包括ケアの深化・進化
- 学校教育、医療、介護拠点

#### こんなまちを目指します

- 地域に即した住民協働の地域包括ケアシステムが機能している
- 交通インフラを見直し、まちのどこに住んでも最低限の外出手段がある
- 通信インフラが整い、様々な情報へのアクセスが簡単にできる
- 地域への愛着を持ち、まちでの暮らしが自慢できる人が増える。



■ 整備された道路

# 小さな拠点の実現に向けて

地域づくりの原動力となるのは、個人、団体を問わず、地域を第一線で支える地域住民一人ひとりのみなさんです。住み続けたいと実感できる地域の実現に向けて、地域の自主的かつ主体的な取組を基本に、地域住民、行政が密接な連携を図りながら、総力を結集して小さな拠点の実現に向けて取り組むことが重要です。

## 住民の役割

地域づくりは、地域住民自らが、将来の展望を明確にして、その実現に向けて、主体的に取り組んでいくことが求められます。

また、普段当たり前に見えていたものが、実はかけがえのない宝物だと気づくことが「地域づくり」の始まりだと言われています。

このため、地域住民誰もが参加できる話し合いを通じ、地域住民合意の下に、地域が進むべき方向やあるべき姿を描いていく必要があります。

さらには、具体的な方策の検討や取組を進めるための体制づくりを進め、役場と連携・協働を図りながら「住民主導での地域づくり」を実現させていく必要があります。

## 役場の役割

役場は地域の抱える様々な課題に対して地域と協働し、主体的に地域づくりを進めていくことが求められます。

このため、庁内の部局連携体制の強化や多岐にわたる地域課題に対応する一元的な相談窓口の設置など、支援体制の整備を行う必要があります。

また、地域の実態やニーズの把握に努めるとともに、住民主導の地域づくり活動等に参画し、地域課題の解決に向けた積極的な支援を行うことが必要です。

さらには、他の市町村と連携、協力を図りながら、広域的な取組による効果的な地域活性化策を推進することが求められます。



## 取組の周知・啓発、情報発信

この計画は、江府町における小さな拠点づくりを住民の皆様と協働で実践していくための計画です。このため、町広報やパンフレット、ホームページ、講演など、幅広い手段を活用しながら周知・啓発していきます。

また、計画推進の最新の情報や、住民の取組やイベント、集会などの情報について、町広報を始め、ホームページ、SNSなどで広く発信し、多くの町民の参加を促進します。



Facebook 等の活用

## こみふくらしっく♪(江府町小さな拠点づくり推進計画)概要版

問い合わせ 江府町役場 奥大山まちづくり推進課  
〒689-4401 鳥取県日野郡江府町大字江尾475  
TEL 0859-75-3222 FAX 0859-75-3455  
HP <http://www.town-kofu.jp/>

発行 江府町  
発行年月 平成29年3月  
協力 (株)ジャパインターナショナル総合研究所

